

ガイドンス等施設整備（であいの館増築）に係る意見・要望に対する対応

	意見・要望等の要旨	市の方針
1	高野槇は、村役場当時からある木で、地域住民の心に残る象徴の木であるので、切り詰める場合、移植の方法を検討いただきたい。	移植はできないことはないが、枯れてしまう可能性がかなり高いことから、当該樹木をこのまま残すことを前提に設計し直すこととした。
2	高野槇は、貴重なもので、伐採されないか心配している住民もいる。移植等の検討はできないか。	<p>(設計の主な変更点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設との接続箇所を変更することで、建物の配置を北東側に少し移動した設計とした。 展望デッキは設置しない設計とした。
3	増築部分を全体に北側へ移動できないか。	
4	(裏山の)展望台もあるので、展望デッキは不要ではないか。	高野槇を残すこととしたので、展望デッキは設置しない設計とした。
5	2階にもトイレが必要ではないか。	新たなスペースを作ることはできないので、現行設計の給湯室をトイレに変更することも可能だが、漏水が起きた場合の下階への影響は給湯室と比較し格段に大きいことから、現行設計のとおりとする。
6	既存施設と新設施設の接続部分にある受付の位置が良くないのではないか。受付があることにより接続部分の狭くなり、展示が難しくなる(継続性がなくなる)と思われる。	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設が構造上堪えうる限界の間口であり、これ以上広くすることはできない。 受付を移動させたとしても、接続部分の中央の柱は取り払うことはできない。 既存施設と新設施設の両方を見渡せる。 配電盤や火災報知機器等の設置場所として設計している。 <p>以上のことから現行設計のとおりとする。(展示の継続性は、時代や内容で区切るなどの工夫で対応可能と考える。)</p>
7	飲食やグッズ販売スペースを整備してもらいたい。	<p>新設施設については、整備方針により飲食やグッズ販売スペースは整備しない。</p> <p>既存施設には、すでに売店や来訪者をもてなす休憩スペース(現在はコロナ禍により湯茶の接待は休止中)があり、既存施設のこういったスペースの活用を検討していく。</p>
8	龍岡城だけでなく、市内の他の城跡も紹介するコーナーを設けてもらいたい。	来場者に龍岡城を案内するとともに、築城主の松平乗謨(大給恒)公について学び理解を深めてもらう施設として整備する方針であることから、他の城跡のコーナーは常設展示としては設けない。(史資料の収集など、条件が整えば、整備後に企画展示として検討することは可能と考える。)